

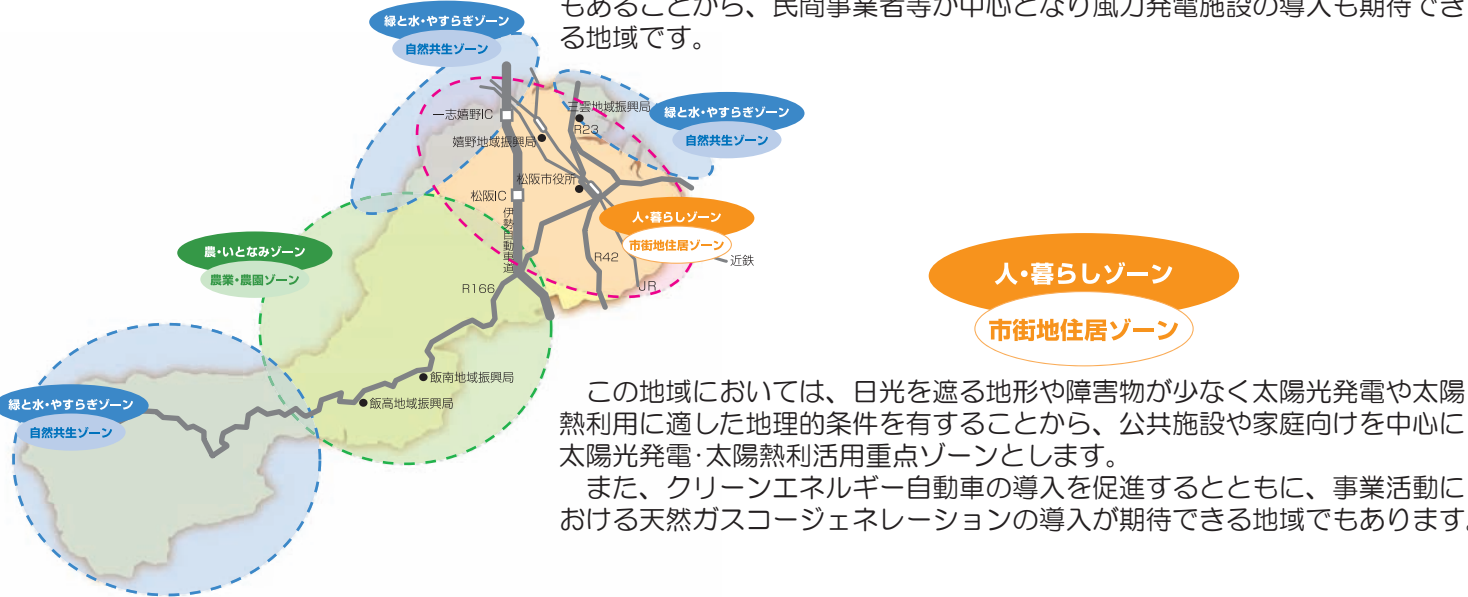
うるおいある豊かな環境に つまれるまち まつさか

5 新エネルギー導入プロジェクト

新エネルギー導入施策

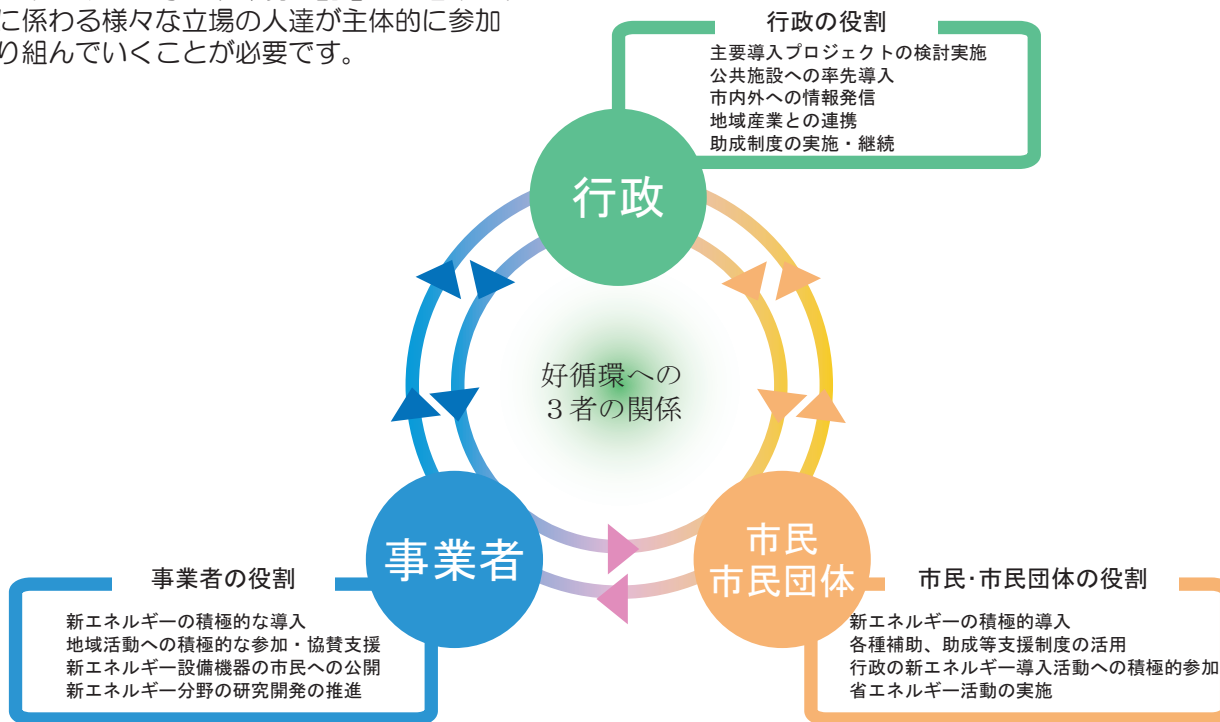
◆主な新エネルギー導入プロジェクト

- ・太陽光発電設備導入促進整備事業
- ・森林資源バイオマス導入促進整備事業
- ・風力発電施設導入促進整備事業



6 推進における各主体の役割

新エネルギーの導入や環境に配慮した活動は、地域に係わる様々な立場の人達が主体的に参加し取り組んでいくことが必要です。



松阪市 環境部 環境課

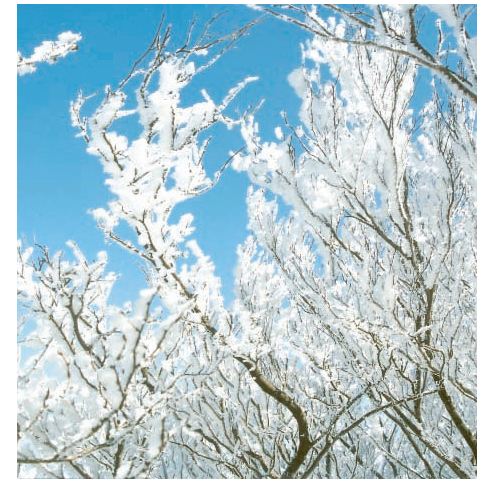
〒515-8515 三重県松阪市殿町1340-1
TEL 0598-53-4425
FAX 0598-26-9115
(平成20年3月31日からFAXは0598-26-4332)
<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>

はじめに

松阪市は豊かな自然とこれまで築いてきた多様な個性を大切に、合併によって更なる発展を遂げていく中で、地球温暖化に深刻な影響を与えることの少ない、太陽光発電、風力発電やバイオマスといった「新エネルギー」の導入を積極的に進め、地域の活性化はもとより、地球環境問題に配慮したまちづくりを進めていくことが必要です。

このことにより、エネルギー・地球環境問題の内外動向を踏まえるとともに、市域における地域資源の賦存量や、利用方法などを調査し、新エネルギーの利用促進等基本的な方向を示し、新エネルギーを導入するための指針として、松阪市地域新エネルギービジョンを策定します。

なお、本調査は、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の平成19年度「地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定等事業」の補助により実施するものです。



松阪市 地域新エネルギービジョン[概要版]

平成20年2月

○ 新エネルギーとは

太陽光や風力、木材等のバイオマスなど、今までのエネルギーに変わる新しいエネルギーであり、環境負荷の少ない地球にやさしいエネルギーです。

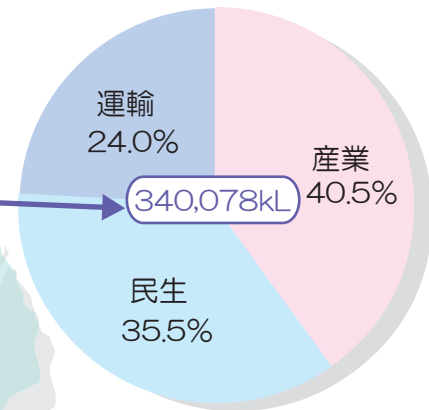
1 松阪市のエネルギーの現状

◆市全体のエネルギー消費量（2004年）

市内のエネルギー使用量は、12,991TJ（原油換算340,078kL）であり、産業部門が最も多く、次いで民生部門となっています。

市全体で年間約340,078kLの原油相当量のエネルギーを使っています。

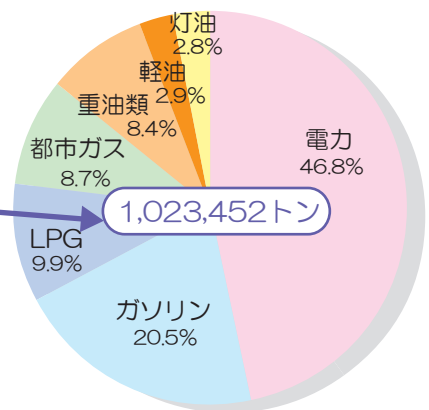
- 産業部門：ものをつくる分野
- 民生部門：市民の生活に関わる分野
- 運輸部門：人やものを運ぶ分野



◆市全体のCO₂排出量（2004年）

市内におけるCO₂排出量は1,023,452トンであり、エネルギー部門別では電力使用によるもの、次いでガソリンの使用によるものとなっています。

市全体で年間約1,023,452トンのCO₂を排出しています。



例：灯油一斗缶（18L）を消費すると、44.8kgのCO₂が排出されます。

2 松阪市の新エネルギーの状況

◆松阪市の期待できる新エネルギー

市内に潜在する新エネルギーとしては太陽光発電や太陽熱利用があります。また、森林資源バイオマスや風力発電などにも利用可能性の高い新エネルギーと考えられます。市内の利用可能な新エネルギーをすべて使用したとすると、市全体のエネルギー使用量の23.9%を賅える計算になります。

松阪市における新エネルギー

3,109TJ（新エネルギー期待可採量）

12,991TJ（松阪市エネルギー使用量）

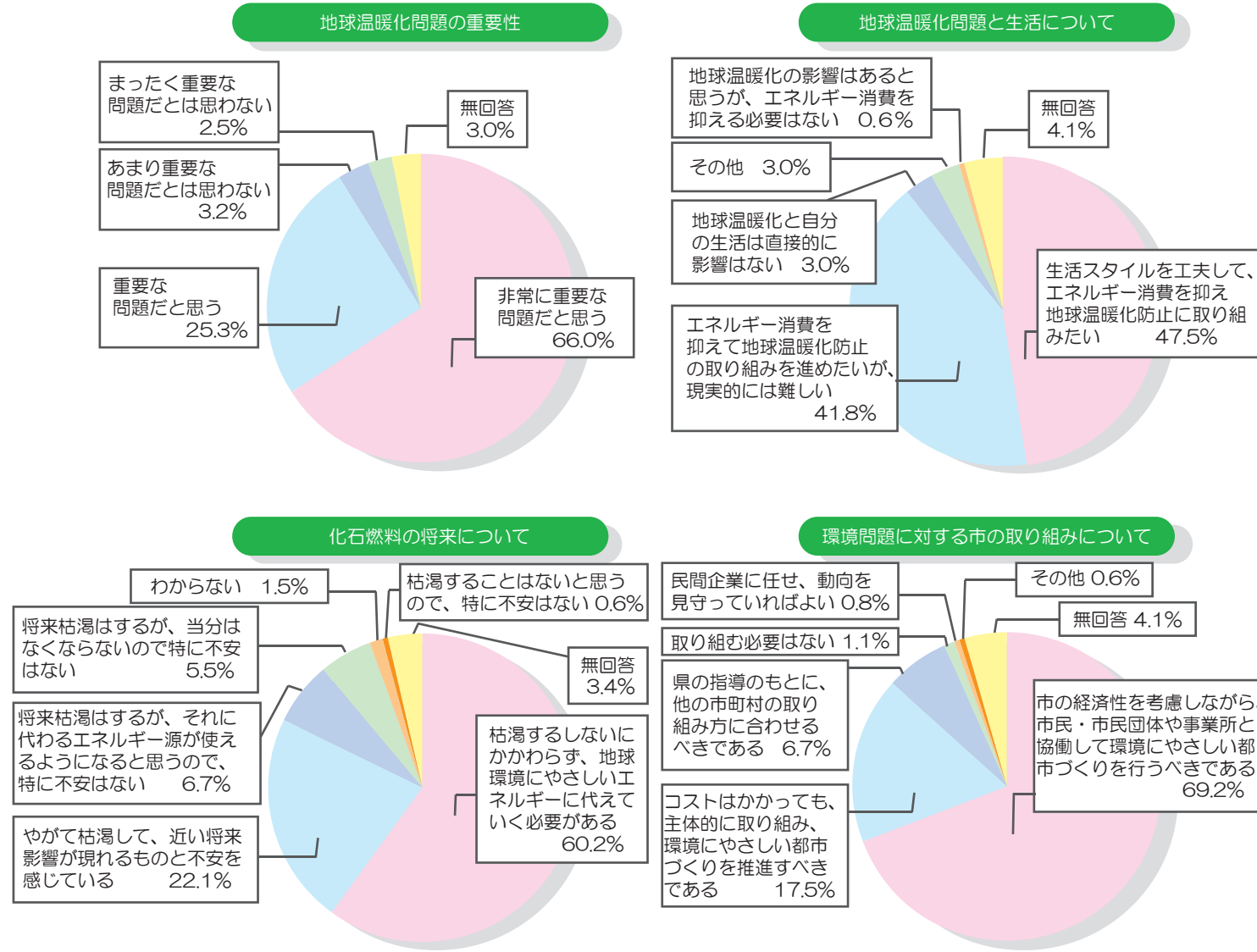
23.9%

<p>太陽光発電 太陽電池パネルに、太陽などの光が当たると電気が発生します。太陽光を直接電気に変換するもので、徐々に導入が進んでいます。</p>	<p>太陽熱利用 屋根などに設置した太陽熱温水器やソーラーシステムで太陽熱をそのまま給湯等に利用するもので、普及も進んでいます。</p>
<p>風力発電 風車の回転で発電します。風力エネルギーの約40%を電気に変換できる他、小型化も進み、全国で既に900基を超える風車が稼働しています。</p>	<p>森林資源バイオマス 木材などのバイオマス（植物等の生物有機体）を燃料とし、発電、熱利用燃料製造を行う自然循環型のエネルギーです。</p>

TJ（テラジュール）とは？
熱の単位のこと、1MJ（メガジュール）は239kcal（キロカロリー）。
1TJは1,000,000MJ。

3 市民アンケートについて

市民のみなさまの環境問題やエネルギー問題への関心はとて高くなっています。市の取組みとしては、経済性を見ながら環境問題に取り組むべきであるといった意見が多くなっています。



4 新エネルギー導入の基本方針

基本理念

『もったいない』が生み出す資源を有効に利用できる地球にやさしいエネルギーの創造

松阪市環境基本計画では、「うるおいある豊かな環境につつまれるまち まつさか」をめざすべき環境像に掲げるとともに、環境像の実現にあたり具体的な6つのまちの姿を「環境ビジョン」として設定しています。本ビジョンは、その中でも循環型地域社会の構築と地球環境の保全を目的とした「『もったいない』が生み出す資源を有効に利用できる地球にやさしいまち」の実現に寄与するものと位置づけられます。このことより、本ビジョンの基本理念を「『もったいない』が生み出す資源を有効に利用できる地球にやさしいエネルギーの創造」とします。

基本方針

- ①地球温暖化防止に向けた新エネルギーの導入を推進します。
- ②環境と地域産業、観光等が融合した地域づくりが活かされるように新エネルギーの導入を推進します。
- ③市民や事業者が連携し参加できるように新エネルギーの導入を推進します。
- ④環境教育、環境学習を通じて「実感できるエネルギー」として新エネルギーの導入を推進します。
- ⑤災害に役立つエネルギーとして新エネルギーの導入を推進します。